

研究概要

企業の中間管理職の倫理的問題の解決手順についての研究

企業倫理推進活動の目的は、それら問題の未然防止にある。しかし、中間管理職にとってその仕組みの「使い勝手のよさ」は、トップの「本気度」に左右される。これは倫理的問題を解決する管理職にとって大きな障壁となる問題が包含されている。これらの事象は、現在、メンタルヘルス問題として社会的課題に昇華している。

これらの解決の糸口として、中間管理職の倫理的問題解決のための思考決定過程と行動の設計までを可視化することが重要である。手法として中間管理職を対象とした倫理的問題解決の成功事例をインタビュー調査によって積み重ね、可視化することで中間管理職のメンタルヘルスケアにおける企業の倫理性向上を促進することを目指す。

(本研究は平成23～26年日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)の研究課題である)



「企業の中間管理職の倫理的問題の解決手順についての研究」実施フロー

今後の展開やメッセージ

企業などの多くの組織において、コンプライアンス・企業倫理の制度化や浸透定着のための効果的な研修の推進実践にも協力させていただいております。本研究以外でも、ご相談ご興味がございましたら、お気軽にお問合せください。

研究者情報



岡部 幸徳 准教授・博士(経営学)

基礎教育部 修学基礎教育課程

所属研究所：科学技術応用倫理研究所

帝京大学法学部法律学科卒。神奈川大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。新日本証券、日本マクドナルド、(社)経営倫理実践研究センターを経て、2007年に本学准教授就任。基礎実技教育課程、情報経営学科を経て、2009年現職。2005-2009年早稲田大学企業倫理研究所客員研究員。2014年英国レスター大学スクールオブマネジメント客員教授、2015年より名誉客員フェロー。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RAHABE.html>

Keyword

経営学 / 哲学・倫理学 / 社会学